



人間はどうして成長するの

はじめは1個の細胞から

生き物の特徴の一つとして、時間とともにたえず変化し続けることがあげられます。人間も、地球上の生き物の一つですから、お母さんのおなかの中で、命が始まったときから、一生、成長という変化をし続けるのです。

人間の命の始まりは、お母さんのおなかの中にある、一個の小さな小さな細胞です。この細胞が、二つに分かれ、その二つが、それぞれ二つに分かれるということを、数えきれないくらい、くりかえして増えていき、体のいろいろな部分を、作りながら成長していきます。

人間の場合、一つの細胞が、9か月ほどで、約3キログラムの赤ちゃんにまで成長し、生まれてくるのです。その後も体の成長は続き、およそ20年で成長は止まります。

成長のしくみは

人間が、このような成長のしかたをするのは、細胞の中に、遺伝子というものがあるからです。遺伝子は、成長のための設計図のようなもので、どのように成長していくかが書きこまれているのです。そのため、人間の体は、新しい細胞ができるときには、この設計図を読み取って、その指示通りに細胞をつくり、成長していくのです。（監修・保志 宏）

